

取組と目標に対する自己評価（令和7年度分）

第9期介護保険事業計画の策定時に本計画の基本理念として、「すべての高齢者が住み慣れた地域において、健やかに、生きがいを持って、安心して暮らすことができる地域社会の形成」と掲げており、本市の目指すべき姿の達成に向けた活動目標や成果指標について、自己評価を行いました。

《令和7年度評価方法》

- ① アウトプット（活動目標）の令和7年度目標値と、令和7年度の実績を比較します。
- ② 比較した結果、それぞれの目標値に対して達成できていれば評価〇とします。
- ③ 施策の柱ごとに、活動目標の数に占める評価〇の活動の割合を達成度として算出します。
- ④ 算出した達成度に応じて、下表のとおり、A評価～E評価の5段階評価にて評価します。

達成度	評価
80%以上	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
20%未満	E

取組と目標に対する自己評価

計画の柱	達成度	自己評価
①在宅生活・看取り期までの在宅ケアを支える体制づくり	55.6% (10/18)	C
②社会参加による介護予防とフレイル対策の推進	53.3% (8/15)	C
③地域における認知症との共生	75.0% (6/8)	B
④地域ネットワークの充実	46.7% (7/15)	C
⑤介護保険制度の持続性確保	64.3% (9/14)	B